

<聖隷三方原病院>総合診療科

<プログラム類型>

③地域密着型コース

<プログラム概要>

聖隷三方原病院総合診療専門研修プログラムの特徴は静岡県下最大の病床数を有する基幹施設である聖隷三方原病院を中心とし、静岡県中東遠、西部医療圏にある連携施設群で構成されたプログラムです。
 基幹施設は、静岡県西部医療圏の高度急性期病院であり、ドクターヘリの運航実施施設、高度救命救急センターといった救急診療を展開しています。
 一方では日本最初のホスピス病棟を始めとして、結核病棟、精神科病棟なども有し、慢性期や終末期の診療へも力を注いでいます。
 また、連携施設には、地域の中核である医療機関や、へき地医療、在宅医療を担う医療機関に参加していただき、充実した研修になると自負しております。
 また専攻医の希望により、基幹施設では関連する診療科として、外科、整形外科、産婦人科、精神科、ホスピス科、皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科等での研修も選択可能にするなど、将来の医師像を様々に描けるような選択枝を揃えています。
 静岡県、ひいては日本全体の各地域においても、総合病院の中の総合診療、地域の中の診療所や在宅医療における総合診療、いずれの道に進んでも、地域を見つめられる眼差しをもった総合診療専門医の育成を目指しています。

<取得できる資格>

総合診療専門医

<現時点の受入見込数>

1人

<具体的なコース>

← うち、4年間を医師不足地域で勤務 →

初期研修 2年	後期(専門)研修 3年	後期(専門)研修後(県内病院勤務) 4年
県内病院	<p><基幹>聖隷三方原病院 <連携>浜松市国民健康保険 佐久間病院、森町家庭医療クリニック、菊川市家庭医療センター、公立森町病院、菊川市立総合病院</p>	<p>勤務する医療機関については、医師不足地域での勤務が4年間となるよう、県とプログラム設置機関とで協議し、県で指定します</p>
	<p>上記のうち、連携施設研修を6ヶ月以上必須とする</p>	

<勤務する医療機関> ※医師少数区域は今年度策定する医師確保計画で決定

二次医療圏	後期(専門)研修	後期(専門)研修後
賀茂		上記のとおり
熱海伊東		
駿東田方		
富士		
静岡		
志太榛原		
中東遠	森町家庭医療クリニック、菊川市家庭医療センター、公立森町病院、菊川市立総合病院	
西部	聖隷三方原病院、浜松市国民健康保険佐久間病院	